

■深沢七郎 小説家、随筆家。ギター演奏で活躍後、「檜山節考」で衝撃の登場、「風流夢譚」で身に危険、放浪生活に。

ふかざわしちろう

第一次大戦始1914＝ 山梨県東八代郡石和町で、印刷業を営む深沢隣次郎・さとじの四男に生まれる。

民本主義・・1916＝ 2歳：同町の老婆に預けられる。

ロシア革命・1917＝ 3歳：この頃胸膜炎にかかり、

べつじん条約・1919＝ 5歳：自宅に戻り、

大暴落・・・1920＝ 6歳：石和尋常高等小学校に入学。この頃には右眼はほとんど失明。

原敬首相暗殺・1921＝ 7歳：成績不良のため農家出の教師宅に預けられ、農業が好きになる。

水平社結成・1922＝ 8歳：成績回復し自宅に戻る。

関東大震災・1923＝ 9歳：

円本時代始・1926＝12歳：山梨県立日川中学校に入学、一学期修了後、小学校六年生時の担任宅の農家に預けられる。_ギターを与えられて好きになり、甲府へ映画を見に行くことに熱中する一方、

金融恐慌・・1927＝13歳：_上級生に勧められた「椿姫」を読んで感動、以後次々翻訳書を読み、

海軍軍縮条約1930＝16歳：日川中学校の回覧雑誌「子供の街」に“妃血楼”のペンネームで詩を寄せるなど、_詩作もするようになる。

満州事変・・1931＝17歳：卒業。東京後樂園の薬屋に奉公に出されたが、やめて流転の生活へ。

五一五事件・1932＝18歳：

_各種の職業に就き、各地を転々としながら、ギターを習う。

帝人疑獄事件1934＝20歳：父が死去。この頃肋膜炎を患い、徴兵検査で丙種合格、

日中戦争始・1937＝23歳：富国徴兵保険相互会社の契約課に就職。

健保+総動員 1938＝24歳：九州支店に転勤、博多に住む。

第二次大戦始1939＝25歳：帰京すると、丸の内明治生命講堂で_初のギターリサイタルを開催(ナイロン弦を初めて使用)。

大政翼賛会・1940＝26歳：この頃、保険会社を辞め、徴兵を避けるため報国砂鉄精錬株式会社に就職。

日米開戦・・1941＝27歳：東京への空襲で、帰郷。東山梨郡塩山町の勤労動員署庶務係に勤務。闇商売も行う。東京の丸の内の産業組合中央会館講堂で、_2度目のギター・リサイタル。

戦時中は菊作りにも熱中。「鼠小僧」「フーガ」「アレグロ」を執筆、_作家としても歩み始め、

敗戦・・・・1945＝31歳：

新憲法公布・1946＝32歳：「白笑」「狂鬼茄子」などを執筆。_{新人作家集団}の会員に応募、文学上の師・丸尾長頭を知る。

新憲法施行・1947＝33歳：この頃、「魔法使いのスケルツォ」を書く。

三大事件・・1949＝35歳：母が死去。この頃、「二つの主題」が完成。_バンドに入ったり、行商をしたりして各地を転々。

朝鮮戦争始・1950＝36歳：

独立回復・・1951＝37歳：

メデー事件・ 1952＝38歳：_神田YMCAでの第18回リサイタルをもって終了。

自衛隊発足・1954＝40歳：この頃、「月のアペニン山」を書く。前年末から、_丸尾長頭が演出担当する日劇ミュージックホールの正月公演に特別出演。秋の公演にも出演。

55年体制始・1955＝41歳：深川牡丹町に下宿を定める。「揺れる家」を書く。

国連加盟・・1956＝42歳：*「檜山節考」を執筆。丸尾の勧めで「中央公論」新人賞に応募し、第1回中央公論新人賞を受賞。

なべ底不況・1957＝43歳：「東北の神武たち」「揺れる家」、既作合わせた「三つのエチュード」発表。_「檜山節考」刊行され、日劇ミュージックホールで出版記念会。

インスタンテン・1958＝44歳：「言わなければよかったのに日記」「うまんさ」、戯曲「檜山節考」。「笛吹川」刊行で文壇に論争。

美智子妃・・1959＝45歳：「かげろう囃子」「朝鮮風小夜楽」「絢爛の椅子」「東京のプリンスたち」。「仏訳「檜山節考」が出る。

安保闘争・・1960＝46歳：_{中央公論}に革命を戯画化した「風流夢譚」を発表、

タイタイ病始・1961＝47歳：*怒った少年が、中央公論社社長宅で女性を刺殺、社長夫人にも重傷を負わせる(嶋中事件)。身に危険を感じて、放浪生活に入る。「流浪の手記」「自伝ところどころ」、

全国総合計画1962＝48歳：「流転の記」「庶民烈伝」「おくま囃歌」。

TV宇宙中継始1963＝49歳：「枕終」「白鳥の死」「正宗白鳥と私」「脅迫者」「お燈明の姉妹」「数の年齢」。

東京パニック 1964＝50歳：「安芸のやぐも唄」「千秋楽」「物と事」「甲州子守唄」。

大学紛争始・1965＝51歳：「甲州子守唄」。「埼玉県南埼玉郡菖蒲町に定着し、{ラブミー農場}を開く。

いざなぎ景気1966＝52歳：「人間滅亡の唄」「色即是空記」「生態を変える記」、

美濃部都知事1967＝53歳：「サロメの十字架」「白笑」。

震ヶ関バトル・ 1968＝54歳：「妖術的過去」。*「深沢七郎選集」発刊を記念して、甲府と新宿でリサイタル。狭心症の発作。

全共闘ビーク・1969＝55歳：「べえべえぶし」「土と根の記憶」「無妙記」。「異説太閤記」連載。

大阪万博・・1970＝56歳：「庶民列伝」「女形」「因果物語～巷説・武田信玄」、

ドルショック・・1971＝57歳：「小さなロマンス」。「東京東向島に今川焼屋{夢屋}を開店。

石油ショック 1973＝59歳：「盆栽老人とその周辺」刊行。_LPレコード「祖母の昔語り」を出す。

クランポール事件1975＝61歳：「妖木犬山椒」「草の中の南瓜」「村正の兄弟」。大宮の日赤病院に入院。

田中角栄逮捕1976＝62歳：「師のこと～武田泰淳」。

JALハイジャック・1977＝63歳：「白いボックスと青い箱」「わが神プレスリーよ永遠なれ」。

成田衝突・・1978＝64歳：「ゲコの酌」。

革新大敗北・1979＝65歳：「アラビヤ風狂想曲」「をんな曼陀羅」「秘戯」。「みちのくの人形たち」を発表、

貿易摩擦問題 1980＝66歳：「“笛吹川”とギッチョン籠」「“破れ草子”に抛るレポート」「闇に咲く美青年」「いろひめの水」「和人のユーカラ」。

。_川端康成文学賞に選ばれるが辞退し、単行本「みちのくの人形たち」で、

。・・・・・1981＝67歳：「花に舞う」「変花草」「いやさか難子」。「谷崎潤一郎賞。

中曽根内閣・1982＝68歳：「報酬」「サド人の聖約」。

。・・・・・1984＝70歳：「極楽まくらおとし図」「夢と漂泊、私の70年深沢七郎徹底インタビュー」。

ジャンボ機墜落 1985＝71歳：「刺青菩薩」。

バブル始・・1986＝72歳：

竹下内閣・・1987＝73歳：心不全のため_没した。

河出書房「深沢七郎」,「この人どんな人」,インターネット,